



平成 28 年 1 月 28 日

各 位

会社名 フジオーゼックス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 深谷 研悟  
(コード：7299 東証第二部)  
問合せ先 取締役統括本部管理部長 藤川 伸二  
(TEL . 0 5 3 7 - 3 5 - 5 9 7 3 )

## 子会社の設立、三菱重工工作機械株式会社との合併会社設立を伴う業務提携、 会社分割（簡易吸収分割）及び同社の事業一部譲受けに関するお知らせ

当社は、平成 28 年 1 月 28 日開催の取締役会において、当社及び三菱重工工作機械株式会社（以下「三菱重工工作機械」といいます。）の自動車用エンジンバルブ事業を統合（以下「本事業統合」といいます。）することに関して、三菱重工工作機械との間で中空バルブ（下記「注 1」及び「注 2」参照）事業に係る株主間契約（以下「本株主間契約」といいます。）を締結のうえ、本株主間契約に基づき、当社が子会社（会社名：フジホローバルブ株式会社（予定））（以下「本子会社」といいます。）を設立し、本子会社において、当社の軸中空バルブ（注 1）事業及び三菱重工工作機械の傘中空バルブ（注 2）事業における中空製造工程の製造事業に係る各権利義務を会社分割（以下「本吸収分割」といいます。）により承継することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

併せて、本事業統合のうち中実バルブ（注 3）事業について、三菱重工工作機械における同事業を当社が譲り受けること（以下「本事業譲受け」といいます。）についても決議いたしましたので、お知らせいたします。

（注 1）エンジンバルブのうち、軸内部を空洞にした製品をいいます。

（注 2）エンジンバルブのうち、軸内部及びヘッド（一般に「傘」といわれます。）内部を空洞にした製品をいいます。

（注 3）エンジンバルブのうち、内部に空洞のない製品をいいます。

本事業統合は、国外の競争法に基づき必要な手続き及び対応を終えることを条件としております。

なお、本吸収分割のうち当社を分割会社とする吸収分割は、当社の総資産の増加又は減少額がその直前事業年度の末日における純資産額の 10%未満、かつ、当社の売上高の増加又は減少額がその直前事業年度の売上高の 3%未満であると見込まれる会社分割であることから、開示事項・内容を一部省略して開示しております。

### 記

#### 1. 本事業統合の概要

本事業統合は、中空バルブ事業と中実バルブ事業の両事業に関して行われるものであり、より具体的な内容は以下のとおりです。

- ・ 中空バルブ事業

当社と三菱重工工作機械の中空バルブ事業における中空製造機能を本子会社に集約させるとともに、軸中空バルブ及び傘中空バルブの受注・販売活動を当社が全て行うこととします。

- ・ 中実バルブ事業

三菱重工工作機械の中実バルブ事業を当社が譲り受けることにより、同事業の当社への集中を実現します。

これにより、当社グループとして、中実バルブ、軸中空バルブ及び傘中空バルブという3種類のエンジンバルブの量産・販売体制が構築・強化されることとなり、販売数量の拡大のみならず、エンジンバルブの商品ラインナップの拡充が実現されます。これにより、お客様の多様化するニーズにより的確に答えることが可能となり、エンジンバルブ事業における他社との差別化及び競争力の強化が図られ、受注の拡大や新規顧客の開拓等が実現されると考えております。

かかる統合を行うこととした経緯及び背景等は、以下のとおりです。

当社では、主力事業である自動車用エンジンバルブ事業において、高度化する自動車メーカーからのニーズに対応するため、通常の中実バルブだけでなく、バルブ軸内部を中空にし、金属ナトリウムを封入した軸中空バルブを早くから開発・量産し、自動車の燃費効率向上に貢献してまいりました。一方、三菱重工工作機械は、三菱重工業株式会社において戦前から航空機用エンジンバルブ製造技術として保有していた独自のノウハウを応用し、バルブ傘部にまで中空部を拡大することでエンジンの軽量化や燃費効率向上を実現する傘中空バルブを自動車用エンジンバルブとして開発し、量産体制の整備と受注拡大を推進してまいりました。

近年、地球温暖化防止の観点から自動車における燃費効率向上の要請・排出ガス規制はより厳しいものとなってきており、日米欧の自動車産業界を中心に、地球環境保護と燃費効率向上を指向する中空バルブの需要がますます高まる中で、競争力を高め、事業規模の維持・拡大を図るためには、多様な製品展開と量産効果に伴うコストダウンを実現することが有効かつ不可欠な状況となっております。

このような市場状況を背景として、これまで両社間で協議を重ねてきた結果、中空バルブをそれぞれ独自に展開する両社が同事業を統合するとともに、三菱重工工作機械における中実バルブ事業を当社が譲り受けることが、商品ラインナップの充実、販売ルートの共通化・最適化、効率的かつ市場ニーズに即した製品開発、原材料の調達と生産の最適化等のシナジー効果の観点から両社にとって最も有効な方策であるとの結論に達したことから、本日、本事業統合について両社間で合意しました。

当社は、本事業統合により、当社と三菱重工工作機械がそれぞれ有する自動車用エンジンバルブに係るノウハウや強みを相互に提供し、その相乗効果を最大限に発揮させることで、市場シェアの拡大やプレゼンスの向上を図るとともに、自動車用エンジンバルブ事業の基盤強化と更なる発展を目指してまいります。

## 11. 子会社の設立及び合併会社設立を伴う業務提携

### 1. 子会社設立及び業務提携の理由

「 本事業統合の概要 」において記載のとおり、当社は、自動車用エンジンバルブ事業における競争力を高め、事業規模の維持・拡大を図るためには、多様な製品展開と量産効果に伴うコストダウンを実現することが有効かつ不可欠であるとの判断の下、当社及び三菱重工工作機械の自動車用エンジンバルブに係るノウハウや強みを相互に提供し、その相乗効果を最大限発揮させ、市場シェアの拡大やプレゼンスの向上を図ることを目的として、同社との間で業務提携を行うこととし、新たに設立する本子会社において両社の中空バルブ事業における中空製造工程の製造事業をそれぞれ吸収分割により承継することといたしました。

### 2. 業務提携の内容

当社が本子会社を当社の100%子会社として設立し、その後、当社及び三菱重工工作機械がそれぞれの中空バルブ事業における中空製造工程の製造事業に係る各権利義務を、本子会社に対して会社分割により承継させることにより、本子会社を当社及び三菱重工工作機械の合併会社とします。

当社及び三菱重工工作機械が有するバルブ製造に係るノウハウや強みを活かして、合併会社では中空バルブ製造の中核を担い、中空バルブ事業の受注・販売活動については当社が一括して行います。

### 3. 設立する子会社（合併会社）の概要

(1) 名 称	フジホローバルブ株式会社 (予定)
(2) 所在地	静岡県菊川市三沢 1500 番地の 50
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 鈴木 統
(4) 事業内容	輸送用機械器具、原動機及び汎用機その他一般機械器具関連部品の製造、検査及び技術提供
(5) 資本金	1,000 百万円
(6) 設立年月日	平成 28 年 2 月 2 日 (予定)
(7) 決算期	3 月末日
(8) 純資産	未定
(9) 総資産	未定
(10) 出資比率	フジオーゼックス株式会社 68.1% 三菱重工工作機械株式会社 31.9%
(11) 当社との関係	
資本関係	当社において本子会社を設立後、当社及び三菱重工工作機械がそれぞれの中空バルブ事業における中空製造工程の製造事業に係る各権利義務を本子会社に対して会社分割により承継させることにより、当社が 68.1%、三菱重工工作機械が 31.9%の出資割合となります。
人的関係	代表取締役社長として当社取締役鈴木統、取締役として当社従業員土山宏幸、監査役として当社監査役河野新治が就任予定です。
取引関係	当社は、合併会社に対して軸中空バルブ及び傘中空バルブに係る中空製造工程を委託します。

(注 1) 上記合併会社の概要は、本吸収分割実施後 (平成 28 年 4 月 30 日予定) の概要 (予定) になります。

(注 2) 上記合併会社は今後設立予定のため、最近 3 年間の財政状態及び経営成績について、該当事項はありません。

#### 4. 合併会社の業績見通し

業務提携により、両社のこれまでの自動車用エンジンバルブ事業に加えて、相乗効果による売上高の拡大を見込みます。

#### 5. 業務提携の相手先の概要

(1) 名 称	三菱重工工作機械株式会社
(2) 所在地	滋賀県栗東市六地藏 130 番地
(3) 代表者の役職・氏名	取締役社長 白尾 誠二
(4) 事業内容	工作機械、切削工具、エンジンバルブ及びその関連製品の設計、製造、販売並びにコンサルティング、同製品の据付、操作指導、修理、改造、点検、保管等
(5) 資本金	3,000 百万円
(6) 設立年月日	平成 16 年 4 月 1 日 (平成 27 年 10 月 1 日より現社名)
(7) 大株主及び持株比率	三菱重工業株式会社 100%
(8) 当社との関係	
資本関係	該当事項はありません。
人的関係	該当事項はありません。

取引関係	該当事項はありません。			
関連当事者への該当状況	該当事項はありません。			
(9) 最近3年間の財政状態及び経営成績(三菱重工工作機械販売株式会社)				
	決算期	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期
純資産		957百万円	1,172百万円	1,070百万円
総資産		6,125万円	6,394百万円	6,352百万円
1株当たり純資産		159,560.23円	195,326.69円	178,273.55円
売上高		23,973百万円	17,465百万円	18,257百万円
営業利益		578百万円	797百万円	490百万円
経常利益		588百万円	799百万円	489百万円
親会社株主に帰属する当期純利益		348百万円	493百万円	292百万円
1株当たり当期純利益		57,991.99円	82,159.79円	48,674.52円
1株当たり配当金		46,393.33円	65,727.66円	38,939.50円

## 6. 日程

(1) 取締役会決議日	平成28年1月28日
(2) 株主間契約の締結	平成28年1月28日
(3) 当社による本子会社設立	平成28年2月2日(予定)
(4) 吸収分割契約の締結	平成28年2月中旬(予定)
(5) 吸収分割効力発生日	平成28年4月30日(予定)
(6) 合併会社の事業開始	平成28年4月30日(予定)

(注) 上記日程は、本事業統合に係る手続上の必要性その他の理由により、変更されることがあります。

## 7. 今後の見通し

本件による当社連結業績に与える影響は軽微な見通しです。

### III. 本吸収分割

#### 1. 本吸収分割の目的

「 . 本事業統合の概要」、「 . 1. 子会社設立及び業務提携の理由」をご参照ください。

#### 2. 本吸収分割の要旨

##### (1) 日程

(1) 取締役会決議日	平成28年1月28日
(2) 当社による本子会社の設立	平成28年2月2日(予定)
(3) 吸収分割契約の締結	平成28年2月中旬(予定)
(4) 吸収分割効力発生日	平成28年4月30日(予定)

(注1) 本吸収分割は、当社及び三菱重工工作機械において会社法第784条第2項に定める簡易吸収分割に該当します。そのため、当社及び三菱重工工作機械は、吸収分割契約につき会社法第783条第1項に定める株主総会の決議による承認を得ることなく本吸収分割を行う予定です。

(注2) 上記日程は、本事業統合に係る手続上の必要性その他の理由により、変更されることがあります。

(2) 本吸収分割の方式

当社及び三菱重工工作機械を分割会社、フジホローバルブ株式会社（以下「フジホローバルブ」といいます。）を承継会社とする吸収分割です。

(3) 本吸収分割に係る割当ての内容

フジホローバルブは、吸収分割の対価として当社に対して普通株式 109,617 株、三菱重工工作機械に対して普通株式 51,302 株を割り当てる予定です。その結果、フジホローバルブの出資比率は、当社が 68.1%、三菱重工工作機械が 31.9%となります。

(4) 本吸収分割に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

(5) 本吸収分割により増減する資本金

該当事項はありません。

(6) 承継会社が承継する権利義務

フジホローバルブは、当社及び三菱重工工作機械から中空バルブ事業における中空製造工程の製造事業に関する資産その他の権利義務を承継します。

(7) 債務履行の見込み

当社は、本吸収分割の効力発生日以降に弁済期が到来する債務につき、履行の見込みに問題はないものと判断しております。

3. 本吸収分割に係る割当ての内容の算定の考え方

フジホローバルブが交付予定の対価の算定につきましては、本吸収分割において承継する資産等を純資産方式により算定した金額を基礎として、両社協議の上、決定いたしました。

4. 本吸収分割の当事会社の概要

	吸収分割会社		吸収分割承継会社
(1) 名称	フジオーゼックス株式会社	三菱重工工作機械株式会社	フジホローバルブ株式会社
(2) 所在地	静岡県菊川市三沢 1500 番地の 60	滋賀県栗東市六地藏 130 番地	静岡県菊川市三沢 1500 番地の 50
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 深谷研悟	取締役社長 白尾誠二	代表取締役社長 鈴木統
(4) 事業内容	・各種エンジンバルブその他エンジン関連部品並びに自動車部品の製作及び販売 ・鋼材の加工及び加工製品の販売 ・工作機械の売買、修理、賃貸借及び据付工事請負 ・前各号に係る治工具並びに技術の販売	工作機械、切削工具、エンジンバルブ及びその関連製品の設計、製造、販売並びにコンサルティング、同製品の据付、操作指導、修理、改造、点検、保管等	輸送用機械器具、原動機及び汎用機その他一般機械器具関連部品の製造、検査及び技術提供

(5) 資本金	3,019百万円	3,000百万円	1,000百万円
(6) 設立年月日	昭和26年12月21日	平成16年4月1日	平成28年2月2日(予定)
(7) 発行済株式数	20,559,500株	60,000株(平成27年10月1日より)	161,019株(予定)
(8) 決算期	3月末日	3月末日	3月末日
(9) 大株主及び持株比率	大同特殊鋼株式会社 45.42% 大同興業株式会社 5.26% ジェイアンドエス保険サービス株式会社 3.18% 株式会社りそな銀行 3.12%	三菱重工業株式会社 100%	フジオーゼックス株式会社 68.1%(予定) 三菱重工工作機械株式会社 31.9%(予定)
(10) 直前事業年度の財政状態及び経営成績			
純資産	21,288百万円	1,070百万円	
総資産	24,232百万円	6,352百万円	
1株当たり純資産	1,036.11円	178,273.55円 (発行済株式6,000株)	
売上高	15,263百万円	18,257百万円	
営業利益	685百万円	490百万円	
経常利益	1,112百万円	499百万円	
親会社株主に帰属する当期純利益	750百万円	292百万円	
1株当たり当期純利益	36.51円	48,674.52円 (発行済株式6,000株)	

(注1) フジオーゼックス株式会社の大株主及び持株比率については、平成27年3月31日現在の内容です。

(注2) フジホローバルブ株式会社の概要は、本日現在の予定となります。

## 5. 分割する事業部門の概要

### (1) 分割する部門の事業内容

当社の軸中空バルブ事業及び三菱重工工作機械の傘中空バルブ事業における中空製造工程の製造事業

### (2) 当社を分割会社とする吸収分割において分割する部門の経営成績(平成27年3月期)

	分割事業(a)	全体(連結)(b)	比率(a/b)
売上高	2,129百万円	16,903百万円	12.6%

### (3) 当社を分割会社とする吸収分割において分割する資産、負債の項目及び金額(平成27年3月31日現在)

資産		負債	
項目	帳簿価額	項目	帳簿価額
流動資産	300百万円	流動負債	0円
固定資産	1,053百万円	固定負債	0円

資産合計	1,353 百万円	負債合計	0 円
------	-----------	------	-----

(注) 上記金額は、平成 27 年 3 月 31 日時点の帳簿価額で試算しているため、実際に分割承継される金額は、上記金額に本吸収分割の効力発生日の前日までの増減を調整したうえで確定いたします。

#### 6. 本吸収分割後の状況

##### (1) 合併会社の概要

本吸収分割後の合併会社の概要については、上記「 3. 設立する子会社（合併会社）の概要」記載のとおりです。

##### (2) 当社の状況

本吸収分割後の当社の名称、所在地、代表者の役職・氏名、分割事業を除く事業内容、資本金、決算期に変更はありません。

#### 7. 今後の見通し

本件による当社連結業績に与える影響は軽微な見通しです。

#### IV. 本事業譲受け

##### 1. 本事業譲受けの理由

「 本事業統合の概要」において記載のとおり、当社は、自動車用エンジンバルブ事業における競争力を高め、事業規模の維持・拡大を図るためには、多様な製品展開と量産効果に伴うコストダウンを実現することが有効かつ不可欠であるとの判断の下、市場シェアの拡大やプレゼンスの向上を図ることを目的として、三菱重工工作機械における中実バルブ事業を譲り受けることといたしました。

##### 2. 本事業譲受けの概要

###### (1) 譲受け部門の内容

三菱重工工作機械における中実バルブ事業

###### (2) 譲受け部門の経営成績（平成 27 年 3 月期）

	中実バルブ事業 (a)	全体 (連結) (b)
売上高	2,259 百万円	3,992,110 百万円

(注) 平成 27 年 3 月期において、中実バルブ事業は「三菱重工工業株式会社」に存するため、上記はいずれも「三菱重工工業株式会社」の数値です。なお、経常利益、営業利益、純利益等については、譲受対象事業が「三菱重工工業株式会社」の財務報告セグメントの一部であり正確な金額の算定が困難なため、記載しておりません。

###### (3) 譲受け部門の資産、負債の項目及び金額（平成 27 年 12 月 31 日現在）

資 産		負 債	
項目	帳簿価額	項目	帳簿価額
流動資産	49 百万円	流動負債	0 円
固定資産	213 百万円	固定負債	0 円
合計	262 百万円	合計	0 円

(注) 上記金額は、平成 27 年 12 月 31 日時点の帳簿価額で試算しているため、実際に譲り受ける金額は、上記金額に本譲受けの効力発生日の前日までの増減を調整したうえで確定いたします。

(4) 譲受け価額及び決済方法

譲受け価額：188 百万円

決済方法：現金

3. 相手先の概要

「 5. 業務提携の相手先の概要」記載のとおりです。

4. 日程

(1) 取締役会決議日	平成 28 年 1 月 28 日
(2) 事業譲渡契約の締結	平成 28 年 1 月 28 日
(3) 事業譲受け期日	平成 28 年 4 月 30 日(予定)

(注) 上記日程は、本事業統合に係る手続上の必要性その他の理由により、変更されることがあります。

5. 会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準（企業会計基準第 21 号平成 25 年 9 月 30 日）」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針（企業会計基準適用指針第 10 号平成 25 年 9 月 30 日）」に基づき「取得」として会計処理を行う予定です。この処理においてのれんは発生しない見込みです。

6. 今後の見通し

本件による当社連結業績に与える影響は軽微な見通しです。

以上

(参考)

当社の当期連結業績予想及び前期連結業績

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期業績予想 (平成 28 年 3 月期)	18,000 百万円	1,200 百万円	1,400 百万円	1,100 百万円
前期業績 (平成 27 年 3 月期)	16,903 百万円	1,013 百万円	1,577 百万円	939 百万円